



みっちゃん号

(8)

第175号

発行日：平成30年8月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

診察室から ～ 脳の手術 ～

院長 田口 明

手術には、頭蓋骨ずがいに小さな穴をあけて行う穿頭術せんとうと、ある範囲の骨を削って外す開頭術の2つがあります。穿頭術の場合、手術部位だけの局所麻酔ですみますが、開頭術では全身麻酔が必要です。穿頭術には慢性期の硬膜下血腫や、脳内出血に対してのドレナージ術しゅようがあり、開頭術には脳腫瘍摘出術や脳内出血（急性期）除去術、脳動脈瘤りゅうクリッピング術などがあります。

通常、穿頭術は肉眼で行いますが、開頭術は顕微鏡を使います。開頭術では頭部を金属のフレームでしっかりと固定、手術中に動かないようにします。頭皮を切開後、頭蓋骨にドリルで穴を開け、骨を外すと脳を保護する膜が出てきます。硬膜という強靱きょうじんな膜で、これを切ると脳が現れます（ここから先の操作は顕微鏡を見ながら進めます）。

脳表を観察すると、クモの巣状に張り巡らされたくも膜があり、これを切開すると髄液が出てきます。脳組織は外力や熱などのストレスに弱いため、このように頭皮、頭蓋骨、髄膜、髄液と幾重にも保護されているのです。

この脆弱ぜいじゃくな脳組織に対する手術は、狭い空間での繊細かつ愛護的な操作が要求されます。長時間にわたり緻密ちみつな作業を続けなければならない大手術もありますが、現在は術式や手術器具が改良され、術中ナビゲーションシステムなども発達、安全かつ比較的短時間に行えるようになりました。



熱中症 に 気を付けましょう！！

★熱中症とは・・・

高温多湿な環境で、体内の水分量や塩分量のバランスが壊れたり、体温を調整する機能がうまく働かずに引き起こされる、さまざまな体の不調をいいます。

★熱中症の主な症状



軽 症

手足のしびれ、めまい、立ちくらみ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、ボーっとする



中等症

頭痛、吐き気、嘔吐、体がだるい、力が入らない



重 症

意識障害、けいれん、体が熱い、真っ直ぐ歩けない、呼びかけへの反応がおかしい

★熱中症を予防するためには・・・

<水分補給のポイント>

- ・汗で失った水分や塩分を適切に補給する。
- ・喉が渇かなくても喉が渇く前に水分補給する。
- ・起床時や入浴の前後にも水分補給をする。
- ・尿量がいつもより少なくなったり、尿の色がいつもより濃くなったら注意する。
- ・空調装置使用時は水分損失が多くなるので注意する。



<熱を下げるために効果的な冷やす場所とは・・・>



「首」「わきの下」「太ももの付け根」です。

この場所に保冷剤や冷えたペットボトル・缶をタオルでくるんで当てて、集中的に冷やしましょう。

<その他>

無理をせず、適度に休憩をとり、エアコンや扇風機を上手に利用しましょう。



こまめな水分補給と適度な休息を意識して、自分のからだは自分で守りましょう。

防火訓練 行いました

防火管理者 U・T



この春に多くの新入職員を迎えて初めての防火訓練となりました。最初の発声訓練でかなり面食らった様子でしたが、当院の防火に対する「大きな声で情報伝達を行う」を実践できたのではないかと思います。入院患者様にはサイレンの音や職員が駆け回る騒がしい限りの訓練でご迷惑をおかけしました。

訓練は初めての職員からベテランの職員まで様々ですが、発声練習でウォーミングアップをした後での訓練でしたので気後れすることなく的確に行動できました。消防署から10分以内に駆けつけていただける好立地の当院だからこそ、安心感をもって落ち着いて行動できたと思います。

今回の防火訓練で担当者が交代しますが、次の担当者のよりオリジナリティあふれた訓練に期待してください。「火災発生時に絶対に被害者を出さない」という基本コンセプトは変わらず受け継がれていきます。当院をご利用の患者様は防火訓練にも全力を出し切る職員が見守っていますので、安心して治療に専念できると確信しています。

スタッフの感想

今回防火訓練をして、実際に動いて**大声を出して患者様へ伝えるということ**の大切さや安全確保を一番に考えて行動することの大切さを学ぶことができました。全員が防火、病院の設備に対してきちんと把握しておくことで適切な消火活動ができるようになると思えました。

E・Y



今回の防火訓練で心掛けたことは**慌てず冷静に対応すること**です。思いがけないことが発生したとき、サイレンの音、ざわめきにより冷静さを失い、正しい行動ができなくなり人命救助の遅れにつながります。今後、正しい対応を身に着け、冷静に対応できるように心がけていきたいと思えます。

K・N



初めて防火訓練に参加しました。火災が発生した場合、スタッフ間で連携して“火事であること”“どこに逃げるか”を**とにかく大声で知らせること**の大切さを知りました。患者様がパニックにならないよう、適切な誘導ができるよう、日ごろからイメージトレーニングも必要だと感じました。

F・M

社会福祉士 の 紹介



皆様こんにちは！

今年5月に入職いたしました

社会福祉士 の M・A です。



『社会福祉士って何?』と思われる方も多いと思いますが、簡単に説明すれば患者様やそのご家族様の相談係です。思いがけない病気やケガでこれまで当たり前に行っていたことが難しくなるなど色々な不安を感じる方が多いと思います。その時に患者様やご家族様の不安や心配を軽減できるよう、各種手続きの説明や情報提供をさせていただきます。尋ねにくいこと、話しにくいこともあるかと思いますが、秘密厳守でお手伝いさせていただきます。当院2階ナースステーションにいますのでいつでもお気軽にお声がけください。

例えばこんなお悩み・・・

- ・退院後の介護に不安・心配がある
- ・転院先や施設入所など、退院後の療養の場に関する相談をしたい
- ・医療費など経済的な心配がある
- ・社会保障制度の利用方法を知りたい
- ・ベッドや車いすなどの福祉用具、介護用品について相談したい

七夕 飾りつけしました



今年も笹の葉に七夕の飾りつけをしました！
七夕の日はあいにくの雨で天の川を見ることができませんでしたね(T_T)
みなさん、お願い事は叶いましたか??



診療時間のお知らせ

お盆休みはありません。カレンダー通りに開いております

8月19日(日) は 在宅当番医です。

